

大腸内視鏡検査に関する説明書

大腸について調べるために、内視鏡による検査を行います。

1. 検査を行うための下剤などの内服や食事の制限、浣腸などを追加させていただくことがあります。
2. 検査中に何か病変が見つかった場合は、診断の補助として病変に色素を散布したり、良性・悪性などを診断するための病理検査の目的で粘膜組織の一部を採取すること（生検）があります。
3. この場合、検査当日は激しい運動および刺激物（アルコール、香辛料など）の摂取を避けてください。尚、血液が固まるのを防ぐ薬を服用中の方や血液が固まりにくい病気の方は、出血が止まらなくなる可能性がありますので、原則として生検はおこないません。
4. 処置に用いる薬剤や検査の苦痛を和らげるための鎮痛剤による影響のために目がチカチカしたり、眠気やふらつきが残ることがあります。このため検査当日のお車の運転は危険ですのでおやめください。万一、無理に運転して事故などをおこしても、当院は責任を負いかねます。
鎮静剤などを注射した場合は、検査終了後から約1時間程度、安静室で様子をみてからご帰宅いただけます。
鎮静剤は当日お申し出いただいても使用できません。使用を希望される方は、予約時に担当の医師にご相談ください。また、鎮静剤を使用する場合は原則として同伴者と一緒にご来院ください。
5. 検査が原因で腹痛などが出現する可能性があります。通常数日以内に消失します。重篤な合併症として、出血や穿孔などが発生することが稀にあります。この頻度は、全国集計で検査を受けた方の約0.04%と報告されています。このような重篤な合併症が発生した場合には、再検査や輸血、手術も考慮した治療を適切に且つ迅速におこないます。検査が終了した後で、万一下血や持続する腹痛症などがありましたら、担当科医師もしくは検査医にご連絡ください。
6. 当日の身体状況によっては検査を中止させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
7. 検査当日の状況により、検査予約時間通りに開始・終了できるとは限らないことをあらかじめご了承ください。
8. ポリープなどがあった場合、当日は切除せず、後日改めて入院予約のうえで内視鏡的切除術を行います。
9. 同意いただけても患者さんの不利益になることはありません。また同意を後日撤回することもできます。ご不明な点がございましたら担当医師もしくは看護師にご質問ください。